

普通じゃないめっき会社を目指します。



# REACH ~人々の健康と環境の保護のために

欧州における化学物質の登録、評価、認可等に関する規制」です。  
 Registration (レジストレーション) : 登録  
 Evaluation (エバリュエーション) : 評価  
 Authorization (オーソライゼーション) : 認可  
 of : の  
 Chemicals (ケミカルズ) : 化学物質  
 の頭文字を取ってREACH (リーチ) と呼ばれます。

REACHはEU全域に共通適用される「規則案」として、2007年6月に施行された。その名称から、日本の「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）」や、米国の「TSCA (Toxic Substance Control Act)」と同様に、化学産業に対する特殊な法律ではないかと思える。ところが、REACHには驚くべき特徴が盛り込まれている。

- (1) 化学メーカーだけでなく、下流のユーザー企業も規制対象  
 世の中にある「もの」は、物質 (Substance)、物質の混合物である調剤 (Preparation)、調剤から成形させる成型品 (Article) によって成り立っている。従来の化審法は、このうち物質だけが対象だったが、REACHでは調剤や成型品も対象になる。このことから必然的に、化学物質を使う産業（インク、材料、部品、電機、自動車、建築など）にまで対象が広がる。物質メーカーと成型品メーカーでは、要求される内容は異なるが、ほとんどすべての製造業が何らかの法的義務を負うことになる。
- (2) 新規物質だけでなく、既存物質も対象  
 世界的に見て、従来の化学物質規制は新規物質を対象にしていた。法律が制定された時点で市場に出回っている化学物質（既存物質）には原則として規制がかからず、新たな物質を販売しようとする際にだけ環境安全性の観点での規制が発生した。ところが、REACHではありふれた既存物質も対象になる。有害性の有無に関係なく、すべてに「登録」という作業が義務づけられ、登録を終えた物質だけがEU域内での販売が許可される。
- (3) 登録は物質ごとではなく、事業者ごとや用途ごと  
 従来は、ある物質がいったん許可されれば、一部の例外を除いてもはやその物質はどの事業者がどのような用途に販売してもよかった。しかし、REACHでは同じ物質であっても、登録した事業者だけがEUで販売を許可される。加えて、用途分類の登録も必要になっており、登録用途以外の使い方ができない。これは下流ユーザーの義務で、自らが調達した資材に含まれる物質を、登録用途以外で使ってはならないと明示されている。どうしても使いたければ自ら用途を登録することになる。さらに、自分の顧客に（下流側に）これらの情報を伝達する義務がある。
- (4) 輸出企業だけにとどまらない  
 REACHでは、やがて欧州域内に流通するすべての化学品の組成を物質レベルまでさかのぼれるようになり、どの事業者が作ったかまでを調査できるようになることを目指している。「明らかに有害と判定された物質成分だけを管理する」という従来スキームから、「安全かもしれない多くの物質までを管理する」スキームにエスカレートしたことには疑問を感じる人も少なくないだろう。



### Customer Interview ～お客様インタビュー～

#### サワダ精密株式会社

モノ作りは人間の原点。その体験から生まれる誇りと喜びを共有するプロ集団を目指します  
サワダ精密株式会社様にお話をお聞きしました。



#### <お付き合いのきっかけ>

30年前頃から、以前の仕事の関係でフジコーへめっきを依頼することがあり、何度か会社に行くことがあった。そのときは鉄鋼関係の品物が多く、なかなか思うにお互いの気持ちが通じないことが、あったように記憶しています。独立してからは、お願いする機会が無い日々が続きましたが、株式会社ニッケ機械製作所さんとの取引をきっかけに、めっきをお願いしています。また、三菱電機株式会社さんとの取引も始まり、無電解ニッケルめっき、アルマイト処理もお願いするようになっていきます。

#### <弊社との付き合いに対しての長所>

何処の取引会社さんに対しても言えることですが、信用取引が第一で価格・品質・特にクレーム時の対応を見るようにしています。単価がバラバラだったら、安心して仕事は出せません。その点、価格に安定性があり、品質も現場からのクレームが少ないので、安定していると思う。

も現場



代表取締役社長 澤田脩一様

フジコーさんに対しての担当を決めているので、最近はクレームを聞くことがすくなくなりましたよ。(笑)

#### <弊社との付き合いに対しての短所>

(本当に言ってもいいんですか～？という空気が流れ) いやー以前はね、いろいろありましたよ。たとえば、事務所での対応とかね。

などなど、いろいろと聞きました。

これからのフジコーの課題となり、とてもありがたいお言葉でした。やはり、言って頂けることは、自分の糧にもなります。今後のフジコーに期待してください。社長！！

#### <弊社への評価> 80点(100点満点中)でした。

理由としましては、5年前までは40点でしたよ。ここ、最近のフジコーさんは変わって来ました。今後のことも考えて、80点で。とのことでした。

#### <インタビューを終えて>



このたびのインタビューは実は神戸新聞の取材が終わって、掲載されてからのインタビューでした。とても緊張していましたが、事務所に入ると、一斉に

「いらっしゃいませ」との声をかけて頂きました。また、インタビュー中も、社員の方が「こんにちは」と声をかけてくださいました。社長様の人柄と、教育の賜物だと肌で感じました。社長様の考え方は独特で、たとえば「機械に名前をつける」という発想。遊び心でもあり、愛着が湧き、担当者が丁寧に

使用することにも5Sにも繋がったそうです。朝礼を毎朝行っていて、当番制で進行させていくそうです。人生に一度は冠婚葬祭などで話をするだろうから、そういった時に恥ずかしくない様に、訓練を兼ねて当番製にしておられるそうです。勿論、コミュニケーションを図る為でもあります。一番独創的だったのはチーム分けをして、人の入れ替えをある期間で行うことでした。また、余談で「良い一日と悪い一日どちらを過ごすか」との問いかけがありました。良い一日が良いと思いました。それは、意味の深い言葉でもあり、考えさせられる一日でした。

#### <営業担当者からのコメント>

私自身、現在100社以上の顧客を担当させていただいておりますが、中でもサワダ精密様は実に伺い易いです。社風なのか各社員さんの人間性なのか私としましては壁をまったく感じさせない雰囲気があります。長く弊社の担当をされている方はめっきの知識は脱帽せざるおえません。弊社の性格を怖いぐらいご存知です。

また、一見怖そうな工場長をはじめ祭り好きの平山さんなど個性の強い社員さんは決して少なくないですが、お話をさせていただいても嫌味をまったく感じない方々です。

時には「それはちょっと・・・」と思える難問を持ちかけられることもありますが、「何とかして納品しよう」と思ってしまうのが正直な気持ちです。創業当時の社長の苦労話は営業マンとして自分自身の動きの悪さを反省させられ、この社長の努力と人柄があったからこそ今日のサワダ精密様なんだなあと思えます。

## はりま産学交流会・展示会の概況報告

- 開催日時 平成21年 7月24日 13:00 ~ 18:00 (展示ブース 17:00)
- 開催場所 姫路商工会議所 1F 展示場・2F大ホール
- 展示会内容 はりま産学交流会 2009年パートナーシップ事業  
～ 早く気がつけばよかった！ こんな近くの協力者～

- フジコー参加者 藤井常務、ISO事務局・廣岡

- フジコーの展示内容

- 1) Ecoめっきをテーマに、製品の環境配慮をセールストークとし、表面処理加工をアピール
- 2) Ecoのイメージを表現するため、テーブルクロス・パネルカラーもグリーンに統一
- 3) 展示パネルも全て社内加工し、経費レスを目指した。

- 展示会の総評

- 1) 産学交流会の80社の企業と、大学関連 6校 の展示ブースで開催
- 2) 開始時の関係者で、約250人が参加。(各ブースで 2~3名)
- 3) フジコーのブースの来客は、企業・個人 15社、大学・官庁関係 15名の 約35名
- 4) Ecoめっきは多少の関心と話題性として効果はあった
- 5) めっき加工が必要な企業が3社ほどあったので、詳細は営業に伝達



## フジコー 5S活動の取り組み 続編

昨年末に5S活動の取り組み第1弾として、現場事務所・現場の床塗装を全社員で実施しました。

その際、四苦八苦した一部は小誌「春号」にて紹介済みです。

その後、週1回の5S推進会議や巡回活動も行い日々の床掃除を継続しています。

又、2月前より道具・部品の整理整頓にも取り組んでおります。

床掃除効果の影響？ ……ではないと思われませんが、8ヶ月経過すると床塗装のハガレも目立ってきました。

景気影響による休業や、天候異変による蒸し暑さなども重なった時期こそ気を引き締める事が重要。

そこで、お盆休み明けに気持ちよく気を引き締めて仕事に取りかかるべく第2弾の床塗装実施に至りました。

今回は、設備も対象にしたいとの声も上がり限られた経費の中で取り組む事にしました。

床の塗装作業は思ったよりも手際よく施工できました。

(今回は、前回の失敗を参考に硬化しない塗料選択や経験を生かした施工ができました。)



可愛がっている設備・備品には愛情を込めて…



機械廻りや備品の整理整頓を今回も進めました

Fujiko-History～フジコー誕生から未来へはばたく～

VII 「決して忘れてはいけないこと」

2003年（平成15年）2月5日、その日もいつもと変わらぬように社長は朝の工場徘徊を行った。第2工場の排液を汲み出すポンプが勢いよくまわり、老朽廃液貯蔵タンクに流れ込んでいた。

そして、そろそろ営業に向かおうと車に乗り込もうとした瞬間、「ドゥンッ！」（11時25分）なんとも鈍い音がした。

「まさかっ！」

音の方向に振り向くとFRP製の廃液貯蔵タンクに穴が開き、廃液が噴出しているのではないかと。

「しまった！」

すぐに社長は姫路市の環境保全局に電話して

「直ぐに水道局に連絡して、主水栓を閉じてください。」

現状を報告し、後始末に励んだ。

1時間もすると環境保全局・県民局河川課・薬務課・兵庫県警などがやって来て大騒ぎである。

午後にはテレビ局のヘリコプターが飛ぶ。夕方のニュースに大きく報道された。

「このテレビに映っているの、おたくじゃないのか！」

翌日も大騒ぎである。

もう、これで会社は終わってしまうかもしれない。しかし、近隣の河川流域の方へ迷惑をかけるわけにはいかない。生活用水を守らなければならない。

「すべての廃液を汲み上げ、無害にするためにはできることはすべてします。」

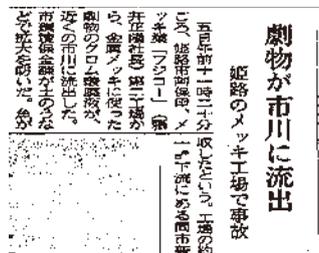
廃液を供給するためのポンプ車は何台も何台も稼働した。

当日から河川課の水質調査は続き、4日目の昼まで6価クロム反応が無かったことが確認できたことでようやく主水栓が開かれることになった。

実は、平成3年の工場移転の後、区画整備事業が遅れており、工場の周りの治水整備が不十分な状況であり、工場の排水処理整備を増強するにもできないような状態であった。

社長の迅速な判断と従業員の誠心誠意の対応もあり、早速、同平成15年12月には本社工場へ硬質クロムめっき・無電解ニッケルめっき・アルマイト処理施設が新設・移転集約することができた。

（その翌年に同じ兵庫県で鳥インフルエンザの事件：浅田農産の事件も起こった）



当時の新聞

編集部の一言



皆さん、いかがお過ごしですか？  
選挙は、劇的な結果になり、これからの日本はどちらの方向に向かうのか。期待通りの結果になってほしいものです。  
さて、このたび、編集者1名ががんばってこられました。ここまでの完成となりました。1人だと妥協の日々が続いていたところ、政治のように新しい風が入ってきました。  
これからの熱い期待を背負って彼が突っ走ってくれるはず。～今度には骨の折れない程度で～今後ともヨロシクお願いいたします。  
会報には載せていないのですが、お客様のところに出張勉強会に行っておりまして。このたびは、一度会社に訪問したことのある会社でしたので、それほど緊張しなかつたかと思っておりますが、やはり緊張しました。何回やっても、どこかでミスしてしまう私ですが、それにくらべて常務は、さすがに感じてました。  
「勉強会に来て」という要望がございましたら、常務とともに参ります。是非、営業まで声をかけてください。

発行人：藤井茂樹  
発行元：フジコー株式会社  
〒670-0947 姫路市北条1080-2  
ご意見・お問い合わせはこちらまで。  
TEL 079-288-3800 FAX 079-288-3830  
E-mail main@fujikome.net

作成：平成21年9月 第10号